

レビー小体型認知症サポートネットワーク京都

レビー小体型認知症は、運動症状や精神症状等、特有のトラブルを生じやすく、
対応に悩まれることが多く、相談窓口が必要な病気です。

ご本人・ご家族を中心として、専門医・医療、介護専門職が同席し、
一緒に学び、語り合い、理解を深め、困っている事、悩んでいる事等
気軽にご相談戴ける場でもあります。

「こういう時は、どういうふうに対応したらいいの？」

「こんな時、気軽に相談できるところがあればいいのに」

「これからどういうふうになるの？」等・・・

一人で抱え込まず、お気軽に交流会でご相談下さい。

ひとりで抱え込まない レビー小体型認知症

～チームケアで豊かな介護の時間を～

レビー小体型認知症の精神症状での入院あるある

～入院が必要な場合とは～

講話： 成本迅先生

協力医 京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学 教授

成本先生の講話後に、専門職から実践報告・情報提供を行います。

精神科入院時の相談窓口をされている精神保健福祉士：井上基氏

精神症状等から飲食量減少につながる原因になる事から、管路栄養士：樹山敏子氏

■日時:2025 年 7 月 12 日(土) 13:30~16:00

■会場:京都府立医科大学基礎医学学舎 3 階 会議室

参加費:500 円 (会場支払) ■定員:6 組 12 名

■申し込み方法: 下記 URL からお申し込み下さい。

<https://forms.gle/CNEuArxSZPf9ByZw8>

レビー小体型認知症サポートネットワーク京都 (DLBSN 京都)

電話:090-1248-7890 (代表:布施) FAX:075-468-8424

メール:dlbsn.kyoto.2017@gmail.com

ホームページ:<https://www.dlbsn-kyoto.com/>